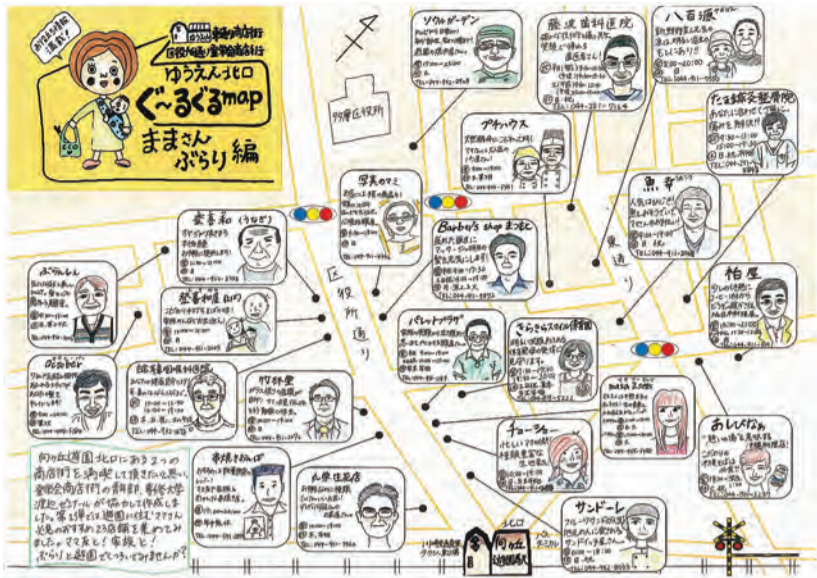


「遊園」北口商店街紹介

ママさん向けイラストマップ



商・渡辺達朗ゼミ制作

「学生がみんなで描いたイラストを楽しんで」。街づくりがテーマの商学部・渡辺達朗ゼミが、小田急線向ヶ丘遊園駅北口の商店街と協力し、商店街のガイドマップを完成した。ゼミ生が取材を重ね、全編手描きイラストの力作だ。カラー刷りA3サイズで4000部。各店や多摩区役所などで無料配布している。

マップを作ったのは渡辺保育園や医院の紹介も。辺ゼミの現4年次生(制)店主さんは似顔絵で紹介する約20人と、区役所「お花屋さん」「生音楽と通り登栄会商店街振興組合の青年部。ぐるぐるmap ままさんがり編」と名付け、夫、男児と暮らす34歳の主婦が商店街を歩くという想定で、北口の約70店の中から23店を紹介。生花店、美容院、そば店、パン店などのほか。来場者にアンケート

また「向ヶ丘遊園駅を乗降するのに北口の商店街を知らない専大生が多い(佐俣里紗さん・商4)」という声も上がり、マップを作ってPRすることになった。

塩海加奈江さん(商4)は「似顔絵に苦勞したが『似ている』と言われた時はうれしかった」。平野水稀さん(同)は「手描きの温かみを出そうと努力した。佐俣さんは「取材を通じて商店街を再認識し愛着がわいた」と話す。

区役所通り登栄会商店街の三平雅美理事長は「マップは親しみやすいと好評。店が気付かない魅力を引き出してくれた」と語る。

「ターゲットを変えてマップ第2弾、3弾を考えている」と渡辺教授。商店街をあまり利用していないことが分かった。

フレッシュユマンキャン

心理学科88人が参加

人間科学部心理学科の「フレッシュユマンキャン」が、4月16日から1泊2日の日程で伊勢原ゼミナール(神奈川県伊勢原市)で開催された。教員や先輩との「合宿」を通じ、学科での学びにスムーズに入ってもらうための恒例行事。新入生88人が参加した。顔合わせは教員と学生がテーブルを囲み、伝言ゲームからスタート。あつという間に距離が縮まり、笑顔が広がった。「共同で一つのテーマに取り組み必修科目もあり、仲間づくりは大切。



テーブルを囲み教員と学生の距離がみるみる縮まった

の長田洋和教授は話す。今年で10回目。緊張気味の学生には2~4年次の実行委員(15人)が声をかける。実行委員長小山貴士さん(4年)は「いろいろな人と関わることで視野が開ける。キャンパで心の垣根がとれると、その後の研究に役立ちます」。新入生たちは先輩から受講科目や時間割の組み方を教わり「これで無事作成し終えることができると、ホッとした表情をみせていた。

スリランカ訪問 佐竹教養ゼミ

佐竹弘靖・教養ゼミ(ネットワーク情報学部教授)スポーツ人類学や文化に触れ日本語を学ぶ学生たちと交流した。参加した学生の体験記を紹介する。



寄稿

小田切 優穂 (文4)



▲ 現地の学生と一緒に。中列の民族衣装姿が小田切さん

で古代の王が暮らしていた空中都市。至る所にその面影を残しています。頂上から雄大な景色を眺めました。多民族国家スリランカの内戦の激戦地であったジャフナ。ここは政府軍と反政府武装組織「タミル・イーラム解放の虎」(LTTE)との間で26年にわたる戦闘が続きました。広場には記念碑や英雄の像が立っています。現在、駅の建設や橋の修復などインフラ整備が行われ、復興に向けて努力がなされています。仏教文化の他の都市と異なり、ヒンズー文化やタミル人についても学びました。日本語を学ぶケラニアの研修旅行に参加してきました。

佐竹教養ゼミは今回、海のシルクロードの要衝であったスリランカを訪れました。2月5日、スリランカのコロambo港に降り立つと、湿気が肌にまとわりつくような蒸し暑さ。

コロambo、キャンデ、ダブラやミヒンタレーなど、ジャフナ、アヌラどの各都市を訪ね、スリー・サーヤ大塔など仏教

世界遺産の空中都市や内戦の激戦地にも立つ

遺跡や仏教伝来の聖地を巡り、荘厳な寺院や仏像、彩色壁画などの仏教美術に触れました。中でも、世界遺産であるシーギリヤの遺跡は見事。大自然の中にそびえ立つ標高3600mの岩城

外国語のススメ 外国語教育研究室

英語 末廣 幹 文学部教授

英文の読解法のひとつであるパラグラフ・リーディングについては皆さんも耳にしたことがあると思います。しかし、「受験英語に限られたテクニック」で、大学における英語学習には不

パラグラフ・リーディングのススメ

向きだと思っている人が多いのではないのでしょうか。それはほとんどない誤解です。たとえば、英語圏の大学に留学すると、毎週学術書を読む課題が課せられます。そのときに日本語に逐語訳しなければ課題図書の内容が理解できないようではどうも準備が追いつきません。パラグラフ・リーディングによって著者の主張を的確に、効率よく把握することが必要になります。パラグラフ・リーディングでは、冒頭のトピック・センテンス、それに続

くサポーター・センテンス、最後に示されるコンクルーディング・センテンスという英文のパラグラフの構造や論理展開を念頭に置いた上で、全文を読まずとも、どこに焦点を当て読めばよいか判断することになります。パラグラフ・リーディングに関する最良の参考書は、成田あゆみ・日比野克哉著『標識に従えば英語はスッキリ読め

パラグラフ・リーディングのススメ

る』(増進会出版社、2003年)です。私は毎年、大学の英語の授業で、パラグラフ・リーディングによって学術書を読む試みをしています。優れた研究者はパラグラフ・ライティングの点でもルールを押さえた優れた書き手であることが確認できます。英語圏の大学へ長期留学することを考えている人はぜひパラグラフ・リーディングに挑戦してみましょう。 ※短縮版。全文はCALL教室ホームページで